



# 公民館だより

公民館で、  
学ぼう！集まろう！  
つながろう！



<令和7年度 公民館活動スローガン>



## 公民館で、学ぼう！集まろう！つながろう！



<令和7年度 公民館活動目標>

### ① 生涯学習事業の推進

- 乳幼児教育学級<ひよこクラブ>
- ゆとり講座（成人男女）
- 高齢者教室（60歳以上の男女）
- 専門講座（男性料理教室など）
- スプリング・サマースクール（小学生）

※少数の場合は開催を見送る可能性があります

### ③ コミュニティ形成事業の充実

- 夏まつり
- 町民文化祭
- 防災訓練
- 藤原惺高まつり
- ニュースポーツ大会
- スキー・スノーボード教室
- 細川地域学校
- 登録団体・サークルの公民館利用

### ② 人権教育・啓発の推進

- 住民学習指導者・リーダー研修会
- 自治会ごとの住民学習会
- 細川町豊かな町づくり推進大会
- 人権視察研修
- 公民館生涯学習講座人権学習
- サークル・団体別人権研修

令和6年度は公民館行事をはじめ夏まつり、文化祭など集客を伴う恒例の地域行事が盛況のもと開催することができました。

今年度も皆様の声をお聞かせ頂きながら、公民館事業の実施並びに地域事業への協力に力を尽くして参りますので、ご理解ご協力のほど宜しくお願いいたします。



## スプリングスクール

3月28日（金）バンドー神戸青少年科学館と神戸空港に行きました。青少年科学館ではプラネタリウムを見たり、積み木で遊んだりしました。神戸空港では普段見ることのできない消防自動車や施設の見学ができました。

春休みのいい思い出になったことと思います。



### 乳幼児教育学級(ひよこクラブ)

#### 閉級式・手形をつくろう

3月13日（木）多田繭香さんを講師に迎え、手形を作りました。紙粘土に子どもが手形を押し、きれいな色のお花紙で装飾しました。最後に修了証書をもって今年度の乳幼児教育学級は終了しました。いい思い出になったことと思います。



## 細川地域学校

### 味噌づくり体験講座

3月14日（金）から16日（日）にかけて味噌づくり体験をしました。山田錦を使って糀を作り、蒸した大豆と塩を混ぜ保存容器に入れて熟成させる。おいしい味噌が出来上がるのが楽しみです。



### スマホ講座

3月15日（土）にスマホ講座を開催しました。12名の参加があり、皆さん熱心にスマホの使い方を学習しました。

### とんぼ玉体験会

3月22日（土）まなびの郷みずほでとんぼ玉体験会を開催しました。とんぼ玉はバーナーで溶かしたガラス棒をステンレス棒に巻き取りながら丸く形を整えていきます。なかなか思うようにはいきませんが、それぞれ個性豊かな作品ができあがりました。



### 令和7年度 細川町公民館職員の紹介

- 館長 長谷川敏彦
- 主事 上田 真樹
- 事務補助 田村 洋子
- 土肥 純子
- 岸本 由紀
- 管理人 前田 哲夫
- 行平 英一
- 戸田 明儀
- 清掃 今安 美子

よろしくお願いいたします

### 退任のご挨拶

この度の人事異動で、2年間の地域まちづくり担当を退任する運びとなりました。

細川町の皆さまには、私の至らない点をいつも温かくお力添えいただき心から感謝しています。

2年間、本当に有り難うございました。

前細川町公民館 まちづくり担当 羽田 忠弘

### 着任のご挨拶

この度、細川町公民館に配属となり、地域行事等と一緒にさせていただけることを大変楽しみにしております。

地域の皆さまにご指導いただきながら、1日も早く皆さまのお役に立てるように努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

細川町公民館 まちづくり担当 上田 真樹

平成元年3月31日発行の「公民館だより（No.58）」掲載の『ふるさとたんほう48』<新嘗祭献穀田>を紹介します。

復刻版

# ふるさとたんほう

## 新嘗祭献穀田

48

新嘗祭とは、十一月二十三日、天皇、自ら新穀を供えて天照大神を初め天神地祇を祭り賜い、御自からもお召し上がりになる重要な国家行事であったが、終戦後は、皇室の行事として続けられている。

この祭典は、遠く皇祖、天照大神が皇孫、<sup>ハルノミコ</sup>瓊々杵尊の降臨に際し、皇孫並びに国民の食糧として稲穂を授けられた皇祖の恩恵に感謝して行われる。この祭典に供せられる米及び粟は各府県より推薦された二戸の農家により、それぞれ栽培される。

昭和三十七年度の兵庫県の精米の献納は、入野の石原甲二さんが推荐された。石原さんは農林大臣賞に輝く篤農家としても、最適任者であった。六月二十六日の田植式には竹矢米を組んで、齊田を囲み清めて、松下宮司祭主となり、朗々たる祝詞のもとに、厳肅に神事が進められ県知事代理吉田農林部長、衣巻市長や高田議長、谷普及所長、米村組合長、名士多数参列、玉串を捧げ選ばれた三人の早乙女達（石原智子、有馬光子、石原栄子）により植え付けが進められ、一同秋の豊穡を祈って式を終えた。



昭和37年 献穀田田植え式

秋にも、十月四日、田植え式同様、厳肅な抜穂式（刈取）がおこなわれた。十月十八日、精白され一粒よりに選び抜かれた、献穀米一・八リットル（約一升）は桐箱に納められ石原甲二、ひさみ御夫妻に捧持されて宮中賢所献穀の間にて献納され、天皇陛下より親しくおねぎらいのお言葉をいただき、光栄ある献穀者としての重責を全された。

石原氏が献納の重任を拝受せられて以来、常に県・市の助言と普及所の指導のもとに、栽培管理に専念され、日夜風雨を案じ、奉耕に心胆を砕かれた。克明に記された奉斎田作業日誌の一節に

「苗代を見に行ったが、なんだか神々しい様な気がして、一見普通の苗代と異なった感じで、これが自分の田かと思った。」と記している。

以来、二十七屋箱、今は故人となられた石原氏の業績は、優良米の産地として郷土、地域の誇りであると共に、新しい郷土史の一頁に刻まなければならない。

田植え式に捧げられた県知事の祝辞が石原さん宅に保存されているのでご参考までに記す。

### 祝 辞

本日、新嘗祭献穀田奉耕者石原甲二氏の田植え式に臨席いたしました。一言お祝いを申し上げます。この新嘗祭献穀の儀は、古い歴史に基づきまして、毎年十一月二十三日、天皇陛下がその年の新穀を、皇祖並びに天神地祇にすめられ、御自らも召し上げられる宮中の重要な御祭儀であります。

この祭典に供せられます新穀は、明治以前におきましては、山城の国宇治郡の御耕地から奉納され明治五年以降、十年までの六ヶ年間は大蔵省から、また同十一年から十三年までの三ヶ年間は、当時の東京府から奉納し、同十四年からは植物御苑で収穫されたものを献納されたのでありますが、明治二十五年に至り、一般農家の初穂の献納の儀を、当時の各県知事からお願いたしましたし御許可賜り今日に及んだのであります。

以来、本県におきましても、各郡・市輪番により献納して参ったのでありまして、本年の精米は、御当地、石原甲二氏。精粟は多紀

郡丹南町酒井常三郎氏の両氏が、献納の重任を拝受されたのであります。

本日、来賓関係者多数御参列のもとに、田植え式の儀が行われますことは、石原氏を初め、ご家族の名誉はもとより、郷土の誉であると存じ、慶賀に堪えない次第であります。充分御健康に留意され栽培管理に御丹精いたされましても、関係者各位におかれましても格段の御指導と御援助なされ無事献納の運びに至りますよう、御配慮をお願いいたします。祭事に関することではありますので、何分にも清浄を期せられることは勿論であります。虚礼にわたるようなことは、極力御遠慮願ひまして諸行事が進められますようお願いいたします。御祝いかたがた御挨拶いたします。

昭和三十七年六月二十六日  
兵庫県知事 坂本 勝

文責 信国 清



昭和37年 献穀田抜き穂式

※次回は『ふるさとたんほう49 <兜岩>』を掲載します。お楽しみに。

# 5月 細川町公民館カレンダー

〒673-0713  
 三木市細川町豊地55-1  
 発行 細川町公民館  
 tel 0794-86-2059  
 fax 0794-86-2870  
 （令和7年5月）

日	曜	行事予定	開催時間	備考
1	木			
2	金			
3	土	憲法記念日 休館日		
4	日	みどりの日 休館日		
5	月	こどもの日 休館日		
6	火	振替休日(17時まで閉館)		☼移動店舗
7	水			
8	木	乳幼児教育学級『開級式・親子遊び』 講師：児童センター職員	10:00～	
9	金			
10	土			
11	日			
12	月			
13	火	細川町区長協議会	19:00～	☼移動店舗
14	水			
15	木			
16	金	第24回JA兵庫みらい杯グラウンドゴルフ大会	9:00受付	雨天の場合は21日(水)
17	土	スポーツ21 フープエクササイズ 講師：川端 敦子さん	12:30～	
18	日			
19	月			
20	火			☼移動店舗
21	水			
22	木	細川ふれあいサロン『なごみ会』	10:00～	
23	金			
24	土			
25	日			
26	月			
27	火			☼移動店舗
28	水	子育てキャラバン 細川ふれあいバス定例会	10:00～ 13:30～	
29	木			
30	金			
31	土	月末休館日		

※掲載内容は、4月8日現在のものです。内容変更が生じる場合もありますのでその点ご了承ください。  
 ※日曜日の公民館閉館時間は午後5時です。

